カトリック幟町教会報
平和の鐘
編集・発行　カトリック幟町教会（宣教企画部 広報係）
チームミニストリー：後藤正史神父(モデラトール),アルベルト神父,スティーブ神父
〒730-0016　広島市中区幟町４番 42 号
TEL　(082)221-0621　FAX　(082)221-8486
http://www.nobori-cho-catholic.com
2011 年 5 月号　No.431

ひたすら　ひたむきに　ひとえに　ひとすじに

聖母マリアにふさわしい言葉たち

後藤正史神父

聖母マリアについて教会はどのようにとらえ、教えているのか、第二バチカン公会議（1962~65）文書を共にたどってみましょう。マリアにならい、マリアに取り次ぎを願いながら、東日本大震災を経験したわたしたちがどのように信仰者として歩むよう招かれているのか、共に思いめぐらしてみましょう。

【キリストの協力者マリア】

○聖母は切り離すことができない絆によって子（キリスト）の救いのわざに結ばれている。（典礼憲章 103）

○マリアは天上、地上のすべての他の被造物よりはるかに優れている。　マリアはアダムの子孫として、救われるべきすべての人と結ばれている。　マリアは教会のかしら（キリスト）のメンバーである信者が、教会の中に生まれるよう協力した。（教会憲章 53）

【わたしたちの母マリア】

○マリアは、信仰の旅路を進み、子（キリスト）との一致を十字架に至るまで保った（ヨハネ 19：25）。　母の心を持って、このいけにえ（キリスト）に自分を一致させ、自分から生まれたいけにえの奉献に心をこめて同意した。　「婦人よ、これがあなたの子です」（ヨハネ 19：26～27）ということばでマリアは母として弟子に与えられた。（教会憲章 58）

【信仰者のお手本マリア～御旨のままに～】

○マリアは単に受動的に神に用いられたのではなく、自由な信仰と従順をもって人類の救いに協力した。（教会憲章 56）

○信者は選ばれた人々の全共同体に対して、さまざまな徳の模範として輝くマリアを仰ぎ見る。教会は自分の使徒的活動において、キリストを生んだマリアを仰ぎ見る。（教会憲章 65）

【教会のかたどりマリア】

○神の母は、信仰と愛とキリストとの完全な一致の領域において、教会のかたどりである。（教会憲章 63）

【取り次ぐマリア】

○マリアは天にあげられた後も、救いをもたらす務めを放棄せず、かえって数々の取り次ぎによって、われわれに永遠の救いのたまものを得させるために続けている。　危険や困難の中にある兄弟たちが、幸福な祖国に達するまで配慮し続ける。（教会憲章 62）

【司祭の模範マリア】

○司祭は従順のすばらしい模範を聖なるおとめマリアに常に見出す。マリアは聖霊に導かれ、自分のすべてを人類のあがないの秘儀に捧げた。（司祭の役務と生活に関する教令 18）

7人の新しい家族

４月 23 日の復活徹夜祭で、７人の方が洗礼の秘跡を授かりました。
新しい家族にとって、これからが新たな絆で結ばれた共同体としてのスタートです。皆さんで支えてくださるようよろしくお願いします。

ぶどうの会だより

KR

2010 年のクリスマス、イエス様がお生まれになられた日に洗礼を授けていただきました。永遠の恵みの泉を胸にしっかりと享受しました。洗礼の決心まで随分迷いましたが「クリスマスの日に！」と神様に、そして東方で星を見つけた学者達に導かれたような感じでした。

洗礼前の勉強会を、現在も続けてくださっている後藤神父様やシスター荒谷には深い感謝の思いでいっぱいです。「洗礼前よりも洗礼後のフォローがいかに大切なものか」ということを、つくづく感じています。

また、「ぶどうの会」も私にとって大事な存在で、受洗前から時間があるときは参加していました。柳田神父様のまっすぐな視線と、核心にふれるお話は魅力に溢れ（時折、関西なまりがでる時はほほえましい）司会者の進行もスムーズで心地よい空間です。そこでは聞いているだけでも受け入れてもらえるので、人前で話すのが苦手な私でも気軽に参加できます。

まだスタートラインに立ったばかりです。教会の皆様方と心の握手をしていただきながら少しずつ信仰を深めていきたいと願っています。好きな言葉は「神は見える色の中に見えない美を表し、聞こえる音の中に聞こえない声でささやいている」です。

誌上談話室 わかちあい

誌上談話室に貴重な意見をいただきましたので紹介します。

幟町教会内の信徒同士での「交換日記、兼回覧板」を提案します。

まず、各ブロックの信徒で５、６人で一つ「班」を作ります。ただしあくまで希望者のみで強制ではありません。

その班では、なるべく年代層や信徒歴も幅広く揃えます。そして、毎週の主日ミサでの聖書朗読の分かち合いや、日々の信仰生活体験の分かち合いを一人一人が一週間ずつ書き込みしながら、数か月経った後に、司祭にコメントや助言をいただきます。班ごとによって、求道者との受洗までのお手伝いや、年代層を超えての地に足の着いた分かち合いを計れるのではないかと思いますが、いかがでしょうか。

ご意見は広報係のボックスに入れるか、広報係員にお渡しください。また電子メールでも受け付けます。

メールアドレス
nobori_heiwanokane@yahoo.co.jp

パイプオルガンが結ぶ平和の祈り！

AK

（世界平和記念聖堂保存活用委員会）

一昨年、ドイツ領事館を通して、ドイツの方から世界平和記念聖堂のパイプオルガンの由来について問い合わせがありました。

その方は、イタリアのトスカーナ地方のサンアント・スタッツェーマ村の国立平和公園にある教会にパイプオルガンを再建する運動をなさった方でした。私達には馴染みのないその小さな村は、1944 年 8 月にナチスドイツにより 560 名の村人が虐殺された場所として知られています。この事件は「サンアントの大虐殺」という映画でご存じの方がおられるかも知れません。その犠牲者の多くは、女性や子供、お年寄りで、サンアント教会の前に集められ、約 300 人のヒトラー親衛隊機甲師団により一斉に射殺されました。このとき、生まれて間もない幼子も含まれていたそうです。教会のオルガンもこのとき焼失しました。そして、すぐに教会堂は再建されましたが、パイプオルガンが奏でられたのは 2007 年になってようやく実現しました。

この時から、イタリアとドイツの有名なオルガニストによるオルガン演奏会が毎年夏に開催されています。昨年は、トランペット演奏者のフリードリッヒ・ラインホルトさんと、ピアニストの竹沢絵里子さんがイタリアの現代音楽作曲家ルカ・ロンバルディ氏が作曲したサンアントの犠牲者ためのトランペットとオルガンの演奏曲を初演しています。竹沢さんが広島ご出身ということも手伝って、世界平和記念聖堂の平和オルガンと是非とも連携して「平和の祈り」を捧げたいと希望され、チャリティコンサートを開催することになりました。演奏者のお二人は、快くボランティアで引き受けて頂きました。トランペットのラインホルトさんは世界的に活躍する演奏家で、その世界では有名な方です。1957 年ドイツのピアニストである世界的に有名なウイルヘルム・ケンプ氏が平和オルガンの演奏を行って以来、多くの有名な演奏家が世界平和記念聖堂に来ております。

この度も、その歴史に刻まれる演奏会になることが期待されます。ともすると私達は、広島の原爆だけに目を向けがちですが、イタリアの小さな村で起こった事件からも戦争が如何に愚かしい人間の行為であるかを学ぶことも必要です。平和の実現のために捧げられた世界平和記念聖堂でトランペットとオルガンの調べのうちに平和を希望する多くの人々と共に祈りの一時を過ごしたいと思います。幟町教会の皆さまには、ご近所の方やご友人にお誘い頂ければ幸いです。詳細はパンフレットが用意されていますのでそちらをご覧いただき、ご協力して頂ければ幸いです。

4 月 4 日、恒例となった町内会の方々をお招きして「早朝お花見会」が催されました。後藤神父様のオカリナ演奏もあり、大いに盛り上がり、町内会の方々から色々な興味深いお話も出ました。その一部を紹介します。

MM さん

幼児期から小学生時代（昭和 10 年から 19 年まで）鉄砲町で過ごした私は、戦前のカトリック教会の前を通り、幟町小学校に通っておりました。遠い昔の記憶では、教会は細い道に面しており、地味な木造の日本家屋で、又、当時は戦時下であり、ひっそりとした佇まいであったと思います。

信者でない一家で育ったので、残念ながら内部を拝見したことはございません。
ゴーセンス神父様とお目にかかったのは、終戦後、三年くらい過ぎた時でした。伯父の大野浦にあった家に、海水浴に一家で招かれた時でした。

女子大生の従姉が熱心なカトリック信者で、神父様も同時に招待していたのです。会食の席上、弁護士をしていた私の父（当時 45 歳）と神父様の間で、原爆で亡くなった母と弟の死についての受け止め方の違いを論じていたのを聞いたような気がします。女学校 3 年生だった私は、神父様のお言葉で「若いお嬢さんがたを相手に語るのとは違い、この年齢の頑固な大人の男性をカトリックの信仰へと導くことが私の使命であり、生き甲斐です」とおっしゃり、皆で大笑いをした覚えがございます。明朗闊達で気さくなお方でした。

しだれ桜の苗を寄贈してくださった UF（故人）の奥様

昭和 55 年 5 月、長野県善光寺へ旅行に行った際に「しだれ桜」の苗を 100 本購入しました。幟町小学校、ご縁のあるお寺、教会へ植えられ、どこも何本かは枯れ、今は数本のようです。教会も何本かは枯れ、新たに教会の方で植えられたそうです。

行　事　予　定

- **5月8日（日） 信徒総会**
- **5月15日（日） 初聖体（7名）、 ヨセフ会の鐘掃除（午後3時半頃～）と懇親会（午後5～7時）**
- **6月12日（日） 司教様公式訪問＆堅信式、 聖母幼稚園バザー（駐車不可）**

編集後記　教会共同体に新しい仲間が加わりました。洗礼式を迎えられる共同体は幸いです。新しい息吹が吹き込まれるからです。教会はその都度若返り、活性化されます。それは教会にとって喜ばしいことです。しかし、変化を受け入れることは容易なことではありません。自分たちが築き上げてきたものが否定されるような気 になって。それを乗り越えて皆でより良い教会を築き上げていきましょう。受洗者の皆さん、おめでとう。私たちは仲間に加わってくださるのを待っていました よ。（お）